

締結式
5.18 (月)

地域をより良くするために 真岡高等学校包括連携協定締結式

真岡市役所で、真岡高等学校との包括連携協定締結式が行われました。真岡高校から生徒2人を含む6人が出席し、加藤校長と中村市長が協定書へサインしました。包括連携協定とは、市が抱える多様な課題の解決に向けて、市と企業や学校等団体が複数の分野で連携し相互に取り組むことで、地域の発展や市民サービスの向上を図るため締結するものです。



締結式
6.1 (月)

より便利な市民サービスを目指して 富士通 Japan (株) 覚書締結式

真岡市は富士通 Japan (株)と、行政サービスの高度化と行政運営の効率化を目的とした覚書を締結しました。要介護認定業務の迅速化に向けた見直しや税務分野における効率的な業務フローの構築、システム調達時の手続の標準化に取り組みます。これらを通じて市民にとってより便利で持続可能な行政サービスを目指します。



授与式
6.1 (月)

真岡市道路愛称認定書授与式 「真工通り」に決定

真岡市道路愛称認定第1号となる「真工通り」の認定書が、申請者の栃木県立真岡工業高等学校に授与されました。この愛称は、同高西側の主要地方道宇都宮真岡線の交差点～寺久保1丁目交差点の区間となります。市では、地域で愛され親しまれるよう、道路に身近な愛称を認定しています。



イベント
5.9 (土)
～31 (日)

色とりどりのバラに囲まれて 井頭公園ローズフェスタ2026

今年も井頭公園のバラ園では、約210種1300株のバラが見頃を迎え、赤やピンク・黄色など色とりどりの美しいバラが咲き誇りました。生産農家や花き市場から直送されたバラの苗木や軽飲食物等の特設売店のほか、土日にはキッチンカーも出店し、多くの人でにぎわいました。来場者はバラの香りに包まれながら、ゆったりとした時間を過ごしていました。



イベント
5.16 (土)

陣屋 DE ワークショップ第1弾 親子で布ぞうりを作ろう

桜町陣屋跡で、布ぞうりづくりワークショップが開催されました。尊徳が領民たちに夜なべ仕事としてわらじ作りや縄ないなどを推奨したことに由来し、4組8人の市民が参加しました。参加者たちは、最初はスタッフに教わりながら、慣れない手つきで布を通していましたが、徐々に慣れてくると、笑顔で会話をしながらぞうりを編み上げ、両足分のぞうりを作り上げました。



イベント
5.16 (土)

おいしい梨がなりますように！ 梨の摘果体験

寺内の細島なし園にて「梨の摘果体験」が行われました。「摘果」とは、一つの枝にたくさんついた実を間引き、形の良い実だけを厳選するもので、梨がおいしく育つために必要な作業です。9月には完熟した梨の収穫体験と食べ放題が楽しめる体験会が予定されており、参加者は、今から心待ちにしているようでした。



イベント
5.17 (日)

真岡いちごフェスタ 2026 日本一のいちごを楽しむ！

今年で18回目を迎えた真岡いちごフェスタでは約1万5千人が来場し、事前応募で選ばれた1,300人が市内各所のいちごハウスでいちご狩りを楽しみました。メイン会場では、地元商店街の味を楽しむ「いちご横丁」、摘んできたいちごの大きさを競ういちごキングコンテストやビンゴゲーム、和太鼓の演奏なども行われ、大いににぎわいました。



①市内いちごハウスでいちご狩り ③④メイン会場二宮コミュニティセンターの様子 ⑤いちごキングコンテスト ⑥尊徳太鼓 ⑦いちごスイーツアイデアメニューコンテスト